

赤坂台校区福祉協議会報



発行・堺市赤坂台校区福祉協議会

〒590-01堺市赤坂台2丁5-1(保龍納)

☎0722-98-4500

*年4回発行 校区内全戸配布

新しき年の始の初春の
今日降る雪のいや重け吉事

〔版画は、為村収二郎・赤坂台福祉協議会長の作品〕

大伴 家持



恒例の
新年交礼会

赤坂台校区福祉協議会恒例の「新年交礼会」は一月三日(日)午前九時三〇分より自治会館にて行ないます。

これは毎年一月と五月頃に行なっているもので、それぞれの構成団体が活動している内容の情報交換と、新年の挨拶をかねて構成団体の代表の方々が一堂に会し、顔をつき合わせて交流し、親睦をはかるものです。

平素あまり交流のない団体、役職の方々と交歓することで校区内のさまざまな活動や情報が得られ、たいへん意義のある会合として好評を頂いています。別途ご案内いたしますが出席される方は所属組織の情報をご二、三分で発表していただくようご準備下さい。

脳卒中は防げる

——在宅ボランティニア研修△△——

十二月十日、堺市総合福祉会館で標記研修会が開催されました。

講師は日本赤十字社の長尾清子氏で、「ねたきり」について勉強と実習をしてきました。ねたきりになる原因は①脳卒中②転倒③過度の安静(手助けのしすぎ)だそうです。

まず脳卒中の予防には寝る前に二〇〇CCの水(水か番茶)を摂るとよいそうで、トイレに行つた時も水分を摂るのがよいそうです。それは朝五時頃になると血液が濃くなって血管がつまりやすくなるのを防ぐからなのです。

転倒は、居間の転倒が一番多く、家の中だという油断が原因です(畳のふち、布団などにつまづく)。外出の時は靴のつま先の上がつたスニーカーなどを履くと、つまづきにくいので安全です。

最後に自分のことは自分でする、自分で決める、今までの生活を継続しようとする意識が大切だということです。

十一月二十六日、韓国人老人ホームでコリアンデイが催されました。同ホームにボランティニア活動を続けている「ほのぼのの会」の方々もご招待を受けて参加しました。以下は、参加した明星さんの手記。

『入浴介助や老人の心の友として……』と、うれしいおほめの言葉。今後がんばります。

カムサハムニタ(ありがとうございました)。

故郷の家 4周年記念コリアンデイ ……ほのぼのの会に感謝状……



(食卓に並んだ韓国料理を囲んで)

十一月二十六日、韓国人老人ホームでコリアンデイが催されました。同ホームにボランティニア活動を続けている「ほのぼのの会」の方々もご招待を受けて参加しました。以下は、参加した明星さんの手記。

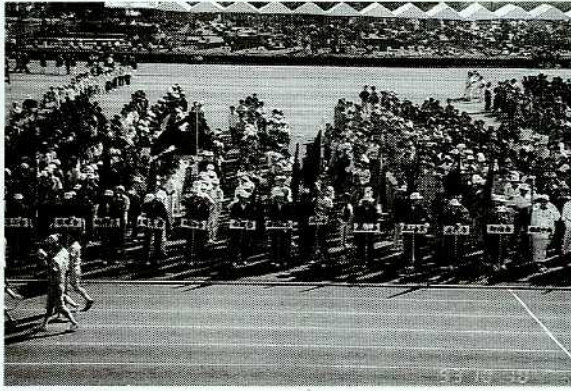
あれ?今日の故郷の家はちよつと雰囲気があります。

連合自治会のページ

第十九回堺市民オリンピック

第十九回堺市民オリンピックは、十月十日(祝晴天)に恵まれ金岡競技場を中心に開催されました。

汗ばむほどの陽射しの中で選手各位にも健闘いただきました。



競技種目別の成績は、左記のとおりです。

○ソフトボール 優勝

一丁チーム主体の混成で参加しましたが希望の優勝をかちとりました。

○バレーボール 優勝

○卓球 優勝

○陸上競技

女子四百メートルリレー

三次予選まで進出

小中男女百メートル

男子四百メートルリレー

いずれも一次予選で失格

○ゲートボール

男子 三位

女子 一回戦失格

参加に当り、体育委員会の皆様には、何かとご協力をい

ただきました。厚くお礼申し上げます。

婦人委員会主催

日帰りツアー



十月二十六日(火)、婦人委員会は、神戸フルーツ・フラワーパーク、六甲十國展望台への日帰りツアーを実施いたしました。

フルーツフラワー・パークは裏六甲の中腹に最近造られた花、果物、ビール・ワインの醸造等をテーマとした神戸らしい健全なパークで、昼食は神戸牛を賞味し、帰路十國峠では回転展望台から三百六十度の景観を楽しみました。もやがなければ、関西新空港も見えるところです。

この催しは、より良い町づくりのため、住民の方々の、一層の交流が、大事であるとの考えから、毎年企画してい

るもので、婦人委員会が夏に行った『ふるさと祭り』当日のバザーの収益金を原資としており、地域の皆様のご協力と婦人委員会の活動により、今年も交流の実を挙げる事ができました。

アペテイト改造に関する対策委員会設置

すでに皆様ご存じの通り、アペテイトが改造され、旧跡地に十四階建の分譲マンションが建設されます。

連合自治会は、七月以来、対策委員会を設置し、工事に伴う問題点につき検討を重ねておりますが、事業主丸紅に対し、遵守させる事項、希望する項目等を、協定書として締結する必要があり、これにより、工事中、又は完成後の住民被害を最小限にするよう作業を進めております。

心を結んで聴きほれて

第十一回赤坂台音楽会

文化の日、「第十一回子どものための赤坂台音楽会」が開かれました。

多くの団体、人たちが七月から会合し、子ども達も一緒になって準備した音楽会。音楽に関しては素人でも、子ども達のために地域の文化活動を。と、心を合わせて取り組んだ音楽会。それは、すば

らしい出来ばえでした。

年々、出演者の演奏がレベルアップし、独唱、合唱、独奏、合奏と、さまざまな演奏形態で表現され、その楽器もピアノ、エレクトーン、オーボエ、マリンバ、シンセサイザー、リコーダー、大正琴と種類が多く、演奏ジャンルも多岐にわたって、聴衆を魅了

しました。

聴衆のマナーもよく、空席なしの満席ながら、演奏中はシーンとして真剣に聴いていました。

とくにこの音楽会は、かつての小・中学校のクラブ卒業生が裏方として奉仕してくれており、音楽会の歴史と、人と人の輪のつながりを感じさせてくれました。お世話になった多くの方々に、感謝します。

あの人この人(5) 赤坂台子ども文庫のみなさん〔6丁14番〕

赤坂台六丁十四番集会所で子ども文庫が開かれてい

るのをご存知でしょうか。昭和五十三年頃、小さい子どもを持つお母さん達が集まって、子ども達に人形劇や紙芝居を見せていました。が、本も見せてあげようということになり、昭和五十七年に「赤坂台子ども文庫」が誕生しました。

現在お世話下さっているのは、一番最初からお世話下さっている川本さん、福重さん、そして市原さん、浜野さん、安岡さん達です。毎月隔週の土曜日の午後一時三十分から三時まで、本の貸し出し、読み聞かせ、工作などが行われており、七夕まつり、クリスマス、文庫まつりなどの行事もあります。会員として登録されている子どもは四十人で、毎回二十人前後が集まってきて、お話を聞いたり、本を借りたりしています。十年以上も続けてい

るので、昔お母さんについてきて子どもが、今は紙芝居を小さい子ども達に見せてあげている姿も見られます。運営費は持ち寄りのバザーなどの奉仕活動です。「この文庫で子ども達から力をもらっています。文庫だから本を読んでもらわなくても構いません。大きくなっても構いません。大きくなるとここで遊んだことを、ふとした時に思い出してもらえればそれでいいのです。」川本さんの力みのない、温かい子ども達への愛情が伝わってきます。



写真は左から市原さん、川本さん、浜野さん、安岡さん

楽しく遊ぼう・子どもが主役 みんなで作ったカーニバル

なキャラクターを出そうか、
どう絵にすればいいかと悩む
やら楽しむやらで完成しまし
た。

各子ども会でサブテーマを

七回目を迎えた赤坂台子ども
カーニバルは十月二十四日
快晴の秋空のもとに、小学
校の運動場いっぱい展開し
ました。六年生の子どもと実
行委員の子どもと実行

委員の文からこの
催しについて振り
返ってみましょう。
〔連合子ども会長
福岡智子さん〕

六年生というこ
とで、カーニバル
の計画、準備、実
行とすべて自分達
で考えて運営する
のです。テーマを
考え、「楽しく遊
ぼう・子どもが主
役カーニバル」が
決まりました。ポ
スター製作もどん

決めて、あんな遊び、こんな
遊びと考えて、牛乳パックの
リサイクルを思いつきました。
紹介文もポスターも自分達で
考えました。

当日は晴れ、「ヤッター、
カーニバルだ」と朝からお店
の準備に入ります。大勢の人
が見て、遊んで、楽しんでく
れました。

終わって片付けながら「よ
かったネ、楽しかったネ」と
言っている内、来年のカーニ
バルのアイデアを考えていま
した。これからも皆の輪を大
事にしていきたいなと思いま



〔連合子ども会
育成協議会 役員〕

実行委員会では「子ども達
自身が自分達の考えを生かし
て楽しみを作り上げていく」
ことを目指して話し合いを進
めていきました。

お知らせの案内やカードな
ど例年大人がしていたことを
子どもに託しました。「子ど
もに」ということは手間もか
かるのですが、出来上がり
を見て、子ども達のすばらし
さに感心しました。

でも、これらのことは単位

ほのぼのの会活動報告★十一
月十一日、赤坂台幼稚園の
運動会にご老人方を招待し
ました。可愛い子ども達の
演技などを楽しく観覧し、
お昼には用意したお弁当を
食べて頂きました。★同十
三日赤坂台中学校のバザー
に綿菓子を出店し、二万五
千円の収益がありました。

子ども会の役員さん方が多大
なエネルギーを注いで指導し
て下さった結果出来たことで
す。そして子どもにかかわり
のない地域の方々までもが、
子ども達に関心をもち「かか
わってやろう」という気持ち
を寄せて下さったおかげと思
います。
このようなカーニバルを通
じて地域の輪が広がっていつ
てくれれば、子ども達の輪も
しつかりとしたものになるの
ではないかと思えます。

乳幼児医療費助成制度とは

質問：乳幼児医療費助成制度ができたとき

ましたか？どんな制度ですか？

回答：平成五年十月から実施された制度で簡単に説明しますと、○才児の入・通院の医療費の健康保険自己負担分を公費で支払う制度と、一〜六才児の入院の医療費の健康保険自己負担金を支払後に還付方式で助成するもの二種類です。

○才児の場合は健康保険証と印鑑を持って、堺市役所公

費医療課へ申請して医療証の交付を受け、それを医療機関に提出するだけで自己負担で支払う必要はありません。一〜六才児の場合は、入院医療費の自己負担金の領収書

（保険診療点数の記載のあるもの、もしくは市指定の用紙のもの）、健康保険証、印鑑と保護者の預金通帳（郵便局は不可）を持って公費医療課へ申請すれば、還付

赤坂台派出所連絡協議会が発足

泉北警察署の要請で、標記協議会が発足しました。これは派出所勤務員が地域住民の意見、要望を把握して、警察運営に反映させるとともに、各種の情報を地域に提供し、警察と住民が一体となって平穏な地域社会の実現をはかるものです。

第一回協議会は十二月十九日自治会館で行われ、管内の犯罪発生状況、赤坂台地域の問題の特性、最近の犯罪の特性等について、意見の交換が行われ、今後、年間三〜四回開催される予定です。各委員は、各組織代表の方八名で構成されています。

福祉協議会構成団体紹介(15) 赤坂台小学校PTA

赤坂台小学校PTAは、昭和五〇年十二月、石上初代会長のもとに発足しました。PTA活動は、学級委員からなる会員、補導、保体、環境の各委員会、各学年委員会、役員、教職員を中心に活動し

所得制限額	
扶養人数	所得額 (円)
0人	3,630,000
1人	3,930,000
2人	4,230,000
3人	4,530,000

されます。この制度は、所得制限がありませんが、所得額は総収入額ではなく、相当控除された後の所得ですので、詳しいことは堺市役所公費医療課へお問い合わせ下さい。（電話 三三一一〇一）

◆◆編集集人余話◆◆
★超高齢化社会の到来へ、福祉、医療、年金の諸制度が変革されて行きます。高負担、低給付の方角に向かうのは間違いないです。★高齢者クラブ連合会がチャリティ演芸会での募金二万六五六〇円をほのぼの会に寄付されました。深謝します。★ハロ—編集子Mさんが目の手術のため入院、今号は、ピンチヒッターによりお届けします。実際にやってみてMさんのご苦労がよく分かりました。一日も早いご回復をお祈りします。(S)

ております。一人でも沢山の保護者の方にご協力頂きたく存じます。そのため、来年度からは、一人の子どもさんが入学すれば、六年間在学中に少なくとも一年間は何らかの形でPTA活動に協力して頂くよう各ご家庭で計画を立てて貰うことと致しました。ご協力お願い致します。